

新型コロナウイルス—企業に甚大な影響 全会員への調査結果まとまる

感染拡大が続く「新型コロナウイルス」。このほど実施した全会員を対象にしたアンケート調査の結果、各事業所では「甚大な影響を受けながらも、懸命に企業努力を重ねておられる」ことが明らかとなりました。結果の概要をお知らせします。

調査の概要

○期間	令和2年8月11日～8月24日
○対象	全会員（1,038事業所）
○回答	279事業所（26.9%）

今回の調査は、「コロナの影響」について、3月と6月に小規模な調査を実施したところ、影響の深刻化が見られたことから、より正確な実態を把握することで、今後の対策に活かすため、全会員を対象に行いました。

業況について—97%が影響を受ける

業況への影響については、「影響を受けた」と「今後受ける可能性がある」を加えると97.2%に上りました。また、受けた影響（複数回答）の内容については、「売上・受注の減少」が86.4%と最も多く、次いで「商談の延期・中止」が24.4%で、さらに「営業『稼働日』の減少」19.0%、「仕入れが困難」14.9%などとなっています。

50%以上の月間売上減少は4割超え

今年2～7月の売上高について、前年比の減少率は、「10%以上～20%未満」が20.0%で1位。次いで「20%以上～30%未満」の19.1%。以下、「10%未満」が18.6%、「30%以上～40%未満」の14.9%。そして、50%以上も11.2%ありました。

また、この期間の前年同月比で最大減少率については、「50%以上」が42.1%、次が「20%以上～30%未満」で15.0%、さらに「30%以上～40%未満」の14.5%などとなっています。さらに、最も減少した月については、「5月」が第1位で40.1%、第2位が「4月」の25.4%、次いで「6月」の13.0%などとなりました。

持続化給付金は66%が受給済み

国・府・市等のコロナ支援策の受給状況（該当を全て回答）については、「持続化給付金」が65.6%で

第1位。次いで「融資」の44.4%、さらに「雇用調整助成給付金」が25.6%、「舞鶴市事業継続緊急支援給付金」の25.0%などとなりました。

懸念される影響—売上・受注減少82%

今後懸念される事項（3項目まで回答）については、「売上・受注の減少」が82.2%。次いで「消費・経済の低迷」は57.5%、さらに「市内産業の疲弊」が25.1%などとなっています。

また、収束が見通せない中で、国・府・市等に要望する支援施策についての回答（複数）では、「税・公共料金の減免」が第1位の53.3%。第2位は「給付金」の49.4%、3位が「助成・補助金」で48.3%。以下、「情報提供」、「融資」などとなりました。

なお、結果の詳細は舞鶴商工会議所のホームページでご確認ください。

【お礼】

今回のアンケート調査では、会員各位には格別のご高配をいただき、初期の目的を達成することができました。心からお礼を申し上げます。

舞鶴商工会議所では、調査結果や頂戴したお声を整理し、「来年度の商工施策」に反映していただけるよう、京都府・舞鶴市等の関係機関に要望書として提出することとしています。

今後ともご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。